

○ 授業や部活動を一般公開 PEN! 飛騨神で高校の魅力を紹介

6月3日（土） 飛騨神岡高校

飛騨神岡高校について、中学生や地域の方々にもっと知ってもらおうと「OPEN! 飛騨神」を行いました。

今年で5回目を迎える今回は、「飛騨神」の特色である総合学科・少人数授業などの授業公開や生徒会役員による学校説明が行われました。学校説明では、生徒自身の体験や感じたことなどを織り交ぜながら、飛騨神の魅力を参加者に紹介しました。

また、部活動の公開として、他校との練習試合やプチ俳句甲子園、最先端ロボットの実演などが行われました。

参加者は、授業や部活動の公開を通して、飛騨神の魅力を実感しました。



生徒による学校紹介

坂 英語を好きになるきっかけへ 本さんが教材を寄付

6月2日（金） 神岡振興事務所

神岡町で移動スーパーを経営している坂本佳祐さんが、神岡小中学校に「アルファベットカード」など英語の教材を寄贈しました。

坂本さんは、子どもたちに英語を好きになる環境を作り、ひとりでも多くの子どものために英語を話してもらい、将来地元に貢献してもらいたい思いでこの英語教材の寄付を行いました。

この日は、神岡振興事務所都竹市長に教材が手渡されました。坂本さんは「今年からは、売り上げの1%を英語教材に使用し、今後も小中学校へ寄付を行いたい」と話していました。



教材を手にする坂本さん（中央）

安 より魅力あるスポットへ 峰山で記念植樹が行われました

6月4日（日） 古川町

安峰山林道管理組合は、古川町の安峰山山頂付近で記念植樹を行いました。

この日は、朝早くから同組合の関係者約 40 人が参加し、山頂付近の遊歩道や林道沿いなどにオオヤマ桜や薄墨桜、臥竜桜、ヤマモミジの計200本を植樹しました。植樹後は、支柱を立てて乾燥防止のワラを敷いて水をあげました。

倉家正樹組合長は、「春は桜が咲き、秋にはきれいな紅葉が見える遊歩道を、たくさんの方に堪能してほしい」と話していました。



記念植樹の様子

地 会場は笑顔と歓声があふれる 域をつなぐ運動会

6月3日（土） 河合小学校

河合小学校で「ふるさと大運動会」が開かれ、同小の全校児童50人と地域住民合わせて約300人が参加し、リレーや玉入れなどの競技を楽しみました。

この運動会は、地域全体で学校行事を盛り上げようと5年前から毎年行っています。

この日は、紅白に分かれての綱引きやリレーなどの競技のほか、全校児童による応援合戦、地元消防団によるラッパ演奏などが行われました。

また、競技の最後には参加者全員で盆踊りを楽しみました。



全校リレーの様子

在 特定外来生物の防除作業を実施 来種の生態系を守る

6月15日（木） 吉城高校

特定外来生物である「オオキンケイギク」の防除活動が、吉城高校で行われました。この活動は、2年前から行われており、今回で3回目です。

この日は同校2年生や学校職員、市職員などが参加しました。市職員からオオキンケイギクなどの外来生物・特定外来生物について説明が行われた後、参加者は同校駐車場の法面での作業に汗を流しました。生徒らは、スコップを使い、オオキンケイギクを根元から引き抜き、駆除を行いました。この日の防除数量は140㎡でした。



防除作業の様子

高 未来への夢を込めて 野千本桜夢公園で記念植樹

6月4日（日） 古川町高野

高野千本桜夢公園整備委員会は、古川町高野地内の旧古川スキー場跡で記念植樹を行いました。

この日は、同委員会メンバーを中心に市民や木に携わる関係者ら約50人が参加し、高さ約4mのヤマサザクラ30本を植樹しました。

同委員長岡田さんは「400本を植樹し15年経過したが、今後も大事に桜を育てながら、親子が集える森にしたい」と話し、都竹市長は「今日植樹した30本は千本に至る第一歩。未来への夢を込めて植樹させていただき、市としても一緒に頑張っていきます」と話しました。



記念植樹を行った皆さん

昔 縄文時代の土器作りに挑戦 の人の暮らしを学ぶ

6月16日（金） 宮城保育園

宮城保育園の年長園児体験授業として、縄文土器作り体験が行われました。

これは、地域の遺跡から分かった縄文時代の暮らしを学ぶとともに、実際に土器を作ることで先人の知恵を知り、ふるさとの歴史に興味を持ってもらおうと行われました。

この日は、文化振興課の職員が縄文時代の暮らしや土器の作り方の説明を行った後、園児らは粘土を成形し、縄などで土器に模様をつけました。土器は乾燥させた後、職員が野焼きし、園児へと手渡されます。



土器作りを行う園児

茂 数々の受賞経験を持つ書のエキスパート 住さんから書が寄贈されました

6月13日（火） 教育長室

古川町出身の茂住菁邨さん（本名：修身）が、市役所へ書を寄贈されました。

茂住さんは、大学卒業後に総理府（現内閣府）に入府し、大臣官房人事課辞令専門官などを歴任され、官記辞令や従四位以上の位記、国民栄誉賞の題字や賞状などを書かれました。また、市美術館・飛騨の山樵館の看板や、斐太高校の校歌なども書かれています。現在は定年退職され、同職に辞令専門職として再任用されています。

この書には人の長生きを祝う「千秋萬歳」という言葉が書かれています。



茂住さん（右）と書を持つ山本教育長



命 命をつなぐプロジェクト の大切さについて改めて学ぶ

6月22日（木） 古川小学校

市消防本部は、古川小学校で「命をつなごうジュニアパラメディックプロジェクト」講習を行いました。

この講習は、小学校4年生から中学校2年生までの5年間で勇気を持って行動できる人材育成を目的に、救急救命授業の一環として行われています。

この日は、同校4年生75人がクラスごとに参加。「救命の連鎖」で命を守れることや命の大切さ、大昔から命がつながっていることなどを学びました。講習終了後には、ジュニアパラメディック終了証が署員から児童へ手渡されました。



署員とともに命の大切さを考える児童

ば 香りと鮮やかな色で来場者を魅了 ら園まつりが開催

6月18日（日） 河合町

6月10日にオープンした河合町の香愛ローズガーデンでばら園まつりが行われました。

会場では丹精込めて栽培された様々な種類のバラが見ごろを迎え、訪れた方を楽しませました。また、会場では、ミニS体験や魚のつかみ取り、地元バンド演奏など、盛りだくさんのイベントが行われました。

ローズガーデンでは、1,300種 5,000株のバラが栽培され、6月中旬から10月頃まで花を咲かせます。園内では、バラを使った料理やオリジナルグッズを楽しめます。



見ごろを迎えたバラ園

赤 ふれあいを通して命の大切さを学ぶ ちゃんと楽しい時間を過ごす

6月22日、26日、29日 古川中学校

古川中学校で赤ちゃんふれあい体験教室が行われ、同校3年生が参加しました。

教室では、助産師が妊婦の生活や受精の尊さを人形や模型を使いながら、生徒に講義しました。加えて、妊娠8か月程度を想定した妊婦ジャケットの着用体験も行いました。

また、地域の親子に協力をいただき、お母さんや赤ちゃんといふれあう中で、命の大切さや家族の愛情などを学びました。



赤ちゃんといふれあう生徒

心 ノルディックウォーキングで町を巡る も身体もリフレッシュ

6月18日（日） 神岡町

ノルディックウォーキングの普及を図ろうと、市と市スポーツ推進委員は、神岡町でノルディックウォーキング教室を開きました。

教室には、保育園児から70代の方まで幅広い年代の市民ら約50人が参加しました。

公認指導員の資格を持つ古川町の岡田善徳さんからポールの扱い方などを学んだ後、約5・5kmのコースを歩きました。

参加者は「友人と一緒に参加し、気持ちの良い汗をかくことができた。気持ちもリフレッシュすることができた」と話していました。



ウォーキングを行う参加者